

○修学旅行を間近に控えた3年生の皆さんへ

今回は、4月28日の授業参観の日に、3学年が実施した「修学旅行保護者説明会」(5月24日に迫った修学旅行について、3年生とその保護者が一緒に説明を聞く会)での話したことをまとめてみました。

今日は修学旅行説明会ですが、この4月の3年生の皆さんの様子を見て私が感じたことからまず話をさせてください。

この1ヶ月の皆さんの姿を見て、感じているのは、西中の最高学年として、よく頑張っているなということです。

例えば、生徒会主催の新生歓迎会での本部役員の見事な進行や各部の部活動紹介のわかりやすさ、また、朝の玄関や休み時間に廊下ですれ違ったときのさわやかな挨拶、授業中で先生の説明を真剣に聞いたり、友達とグループで話し合う姿など、落ち着いた雰囲気の中で、元気に、和気藹々と生活しているなと感じています。そんな日々の姿こそが、「誇れる西中」につながっていくと思っています。

さて、修学旅行が、約4週間後に迫りました。3年生の教室や廊下を見ると、京都・奈良に関する掲示物があちこちに見られ、しっかりと準備を進めているなと感じています。今回の修学旅行で、はじめて京都・奈良を訪れる人もいます。

京都・奈良は、日本文化の源流です。私も何度か訪れていますが、行く度に新しい発見があり、その奥深さを感じています。

そんな、日本の古都、京都・奈良へ修学旅行としていく皆さんに、3つのお願いがあります。

1つめは、**しっかりと京都・奈良の学習をして、当日を迎えてください。**しっかりと学習していくと、目の前の仏像や庭園やお寺・神社の素晴らしさがより分かると思います。

2つめは、**集団での行動になるので、きちんとルールを守って、行動してほしい**ことです。そのためにも、今日のこの後の説明を聞いてください。

3つめは、これが最も大事なこともかもしれませんが、**健康管理をして、万全の体調で参加できるようにしてください。**2週間前からは健康チェックカードも配られますので、本人はもとより、ご家族の皆さんも健康管理に心がけていただければと思います。

特に皆さんは、コロナウイルスの影響で、小学校6年生の時に、方面を変えたり、日程を短縮したりするなどして、本来の修学旅行(5月に・東京方面へ・2泊3日で)に行くことが叶わなかったという経験をしています。当時は未知のウイルスであり、対処法や対策も確立していなかったは言え、辛かったと思います。今回は、新幹線で、京都・奈良を訪れるという本来の修学旅行が4年ぶりに実施されます。

今言った、3つの準備をバッチリして、5月24日、京都・奈良へ出発しましょう。

説明会の折には話をしなかったのですが、皆さんは、右の切り絵の仏像を知っているでしょうか。

東大寺南大門の仁王像です。正式には金剛力士像と言います。この仁王像は、門の左右に一体ずつ安置され、阿形(あぎょう)と吽形(うんぎょう)からなりますが、像の高さはいずれも8.4m弱あります。「阿」には「物事の始まり」、「吽」には「物事の終わり」という意味があります。そのため、阿形像は口を開けて「物事の始まり」を表現しており、吽形像は口を閉じて「物事の終わり」を表現しています。また、仁王像は寺院の門などに安置されることが多く、仏法を守る神のことを言います。さまざまな敵が来たときに、それらから寺院を守る役割があります。守護神、別の言い方をすればボディガードということになります。医学・科学の発達した現代世界に生きる私たちでさえ、未知のウイルス(コロナ・ウイルスに)に苦しめられています。それを思うと、仏の力を借りて禍を避けようとした当時の人たちの思いが少し理解できるような気がします。このように、その仏像がつくられた時代や意味を知ると、見える風景が違ってくると思います。そんな体験も、この修学旅行でもらえればと思っています。

